

2023年環境経営レポート

(対象期間:2023年1月～2023年12月)

建築ボルト・金物総合メーカー

株式会社 ナニワボルト

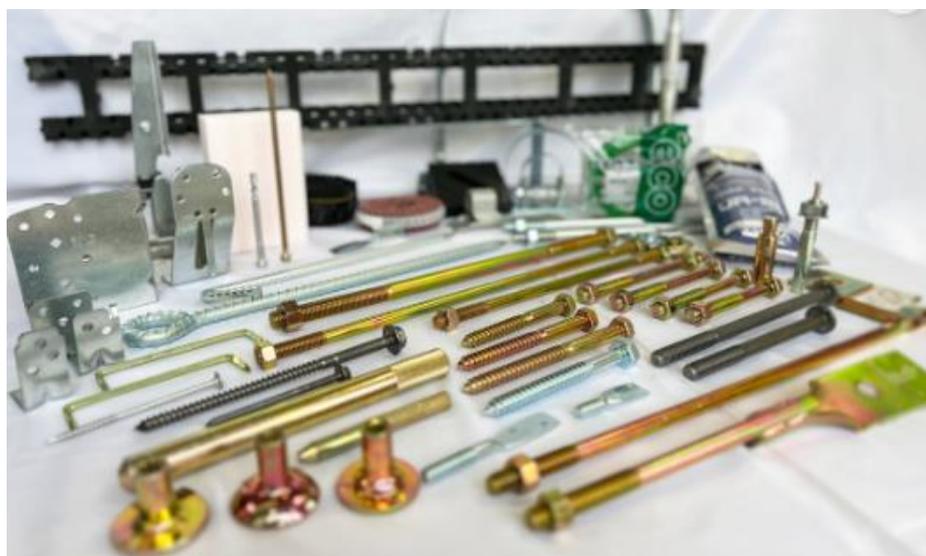


大阪市西区川口4丁目9-11

TEL:06-6582-7280

FAX:06-6582-7256

<http://www.naniwa-bolt.co.jp>



発行日： 2024年4月26日

I	□環境経営方針	P1
II	□会社概要	P2～4
III	□主な環境負荷の実績	P5
IV	□環境経営目標及びその実績	P5
V	□環境活動の取り組み結果とその評価、 次年度の取り組み内容	P6～8
VI	□環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P9
VII	□代表者による全体評価と見直しの結果	P11

□ごあいさつ

20世紀、私たちは大量生産、大量消費により快適な生活を追及してきました。そのことにより、限りある資源を浪費し、CO₂をはじめとする大量の、汚染物質により地球の生態系のバランスを崩してしまいました。

私たちが、今までしてきたことは、遠い将来に影響があるだろうとしか、考えず環境保全の行動をなおざりにし、大変な悪影響が、もうすぐそこまで迫ってきていることに気づきませんでした。ここ1～2年でこのことを文献、報道等により認識することとなり、環境保全のため私たちは、自分たちのできる行動を早急にしなければならぬことを、痛感いたしました。

私たちは、環境保全の行動であるエコアクション21の考えに賛同し、社員一同、その方針に従って地球環境保全のための結果を、残していきたいと考えております。

代表者 秦 光明

I □環境経営方針

株式会社 ナニワホールト 環境経営方針

I. 基本理念

地域における、私たち人間の生活活動が自然の浄化作用を超えたため様々な所で深刻な環境問題が起こってきています。

これを人間1人1人が再確認する事により、次の世代を考え地球全体の環境はもとより少しでも地域の環境を保全していける様、企業活動の主体の一つとして環境汚染防止と継続的改善活動に取り組んでいきたいと考えております。

II. 基本方針

1. 環境についての法令、条例、規則等を遵守する。
2. 環境への取り組みとして特に次の事項に留意します。
 - 二酸化炭素削減の為、省エネルギー化を実現し地球温暖化防止に貢献する。
 - ・電力使用量の削減に努める。
 - ・車両燃料の削減に努める。（車両のエコ化を進める）
 - 廃棄物の削減に努める。
 - 水使用量の削減に努める。
 - 環境配慮製品の販売を促進する。
3. 全従業員へ環境経営方針を周知し、環境意識の向上に努めます。

制定日： 2009年3月22日

改定日： 2022年6月30日

株式会社 ナニワホールト
代表取締役 秦 光明

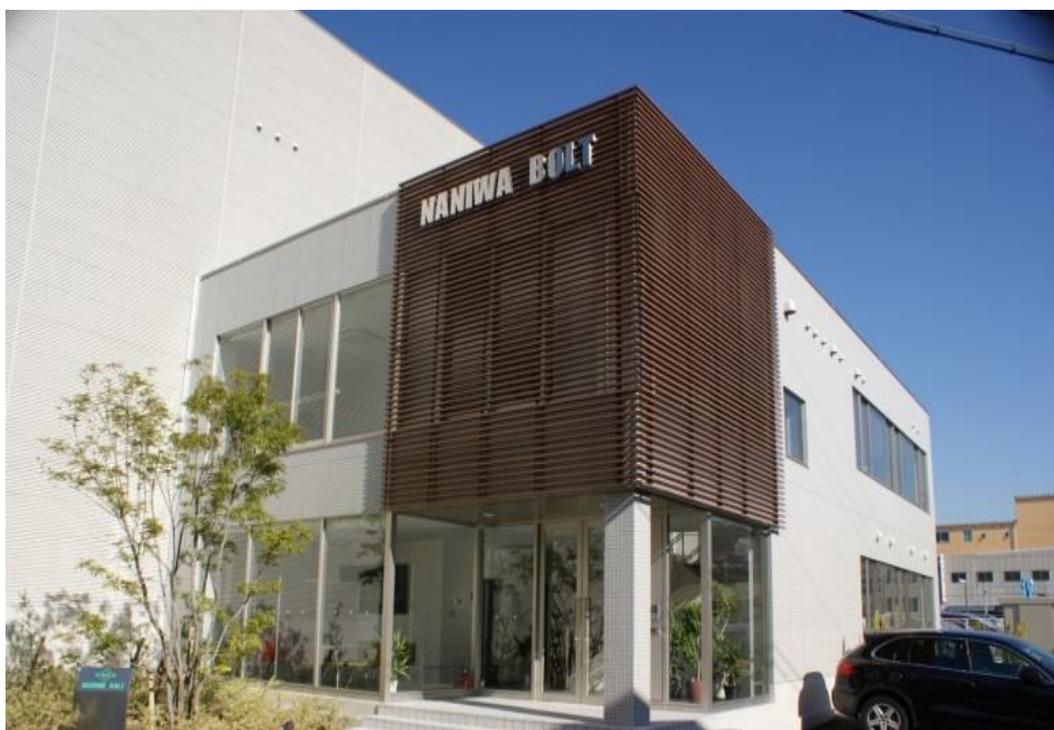
Ⅱ □会社概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ナニワボルト
代表取締役社長 秦 光明

(2) 所在地 本社・工場

〒550-0021 大阪市西区川口4丁目9-11



社屋正面

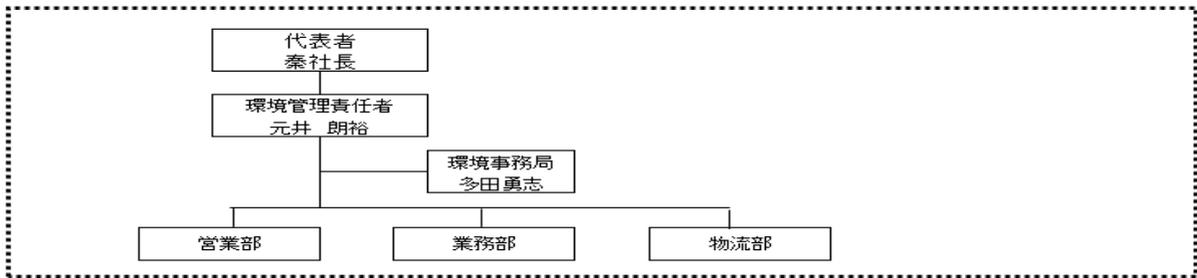


物流倉庫上



物流倉庫(社屋東面)

(3) 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) 従業員に対する教育訓練の実施 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 特定された項目の手順書作成 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境管理責任者名および担当者連絡先

環境管理責任者	元井朗裕	TEL:06-6582-7280
環境事務局	多田勇志	

(4) 事業の規模

製品出荷額 24.2億円/年(2022年9月～2023年8月実績)

	本社・工場
従業員	31名
延べ床面積	2,595㎡

(5) 事業年度

9月～8月(環境経営レポートの対象期間:1月～12月)

(6) 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:株式会社 ナニワボルト
(本社・工場)

活動:建築、土木用ボルト及び建築金物の製造販売

(7) 事業内容

建築、土木用ボルト及び建築金物の製造販売



ネジの町、九条で創業以来70余年、多岐にわたるネジ、ボルト、金物製作に携わってまいりました。その経験を生かし現在では、木造住宅に使用する構造用金具の製造、販売に力を入れております。時代と共に変わり行くお客様のあらゆるニーズに対応すべく幅広い金物を在庫し、一本一枚から必要な物を必要な場所へ間違いなくお届けする事をモットーとして日々努力しております。

取扱い商品一覧



ボルト・ナット・座金



構造用金物



基礎・土台



建材・養生



釘・ビス・工具



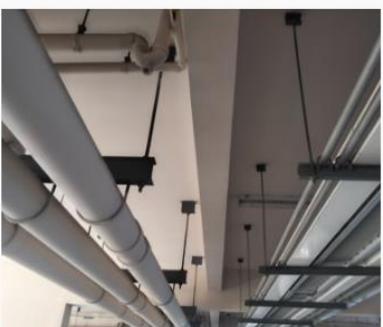
耐震・制震金物



土木資材



梱包資材



配管資材

IV □主な環境負荷の実績

項目	単位	本社・工場	本社・工場	本社・工場	本社・工場	本社・工場
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂ /年	*88,836	*91,866	*86,405	87,292	78,579
廃棄物排出量	kg/年	17,278	16,194	14,195	12,801	10,890
一般廃棄物循環資源量	kg/年	4,965	4,844	4,954	4,853	4,238
一般廃棄物焼却量	kg/年	813	780	751	688	672
産業廃棄物排出量	kg/年	11,500	10,570	8,490	7,260	5,980
総排水量	m ³ /年	228	228	224	223	224

*購入電力の二酸化炭素排出係数:0.350kg-CO₂/kWh

*化学物質の使用はありません。

V □環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準年度	2023年		2024年	2025年
			(目標)	(実績) 目標対比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の省エネ(*1)	kg-CO ₂	25,427	25,173	24,286	25,045	24,918
	基準年度比	2022年	-1.0%	-3.5%	-1.5%	-2.0%
車両燃料の削減(*2)	kg-CO ₂	53,703	53,166	54,293	52,898	52,629
	基準年度比	2022年	-1.0%	2.1%	-1.5%	-2.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	79,130	78,339	78,579	77,943	77,547
一般廃棄物の削減(*3) (循環資源量含む)	kg	5,100	5,049	4,910	5,024	4,998
	基準年度比	2022年	-1.0%	-2.8%	-1.5%	-2.0%
産業廃棄物(木ごみ・廃プラ)の削減	kg	10,010	10,010	5,980	10,010	10,010
	基準年度比	2014年	維持	-40.3%	維持	維持
水道水の削減	m ³	231	225.2	224	224.1	222.9
	基準年度比	2018年	-2.5%	-0.5%	-3.0%	-3.5%
環境配慮製品の販売を促進(*4) (プロイズボルト)*Ⅲ参照	円	4,272,960	—	34,550,150	—	—
	基準年度比	2011年	—	—	—	—

(*1) 電力の省エネの基準値について

・コロナ禍による事業環境の変化を踏まえ2022年の7月から12月の平均を基準値とする。

(*2) 車両燃料の削減の基準値について

・ガソリン:コロナ禍による事業環境の変化を踏まえ2022年の7月から12月の平均を基準値とする。

(*3) 一般廃棄物の削減の基準値について

・コロナ禍による事業環境の変化を踏まえ2022年の7月から12月の平均を基準値とする。

(*4) 環境配慮製品の販売を促進

・現在、弊社のお客様(特定の1件)の先のお客様が使用されているのが大半で、その数値に直接関与(営業)することが困難で、数値は参考とし取組活動为目标とする。

VI □環境活動の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	「評価結果」と「次年度の取組内容」	
電力による二酸化炭素排出量の削減		評価結果	次年度取り組み内容
①不要箇所の消灯の励行	△	目標達成出来ました。引き続き全従業員に目標達成手段を周知徹底して行きます。 数値目標:達成 (-3.5%)	左記の取り組み内容①・②・③・④・⑤・⑥の継続。
②空調機の定期的な清掃	△		
③照明器具の定期清掃	△		
④NO残業DAYの実施	△		
⑤省エネルギー型照明器具への切り替え	△		
⑥残業時間の短縮	○		

自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		評価結果	次年度取り組み内容
①エコドライブ (エコドライブ10のすすめ参照)	○	環境管理責任者の下、目標達成手段に組み込み、目標を達成する事が出来ました。 数値目標:未達成 (2.1%)	左記の取り組み内容①・②・③・④・⑤・⑥の継続。
②適正な積載量の配車	△		
③タイヤの空気圧、確認	○		
④配送ルート見直しの強化	△		
⑤自社配達便の見直し	△		
⑥営業ルートの見直し	△		

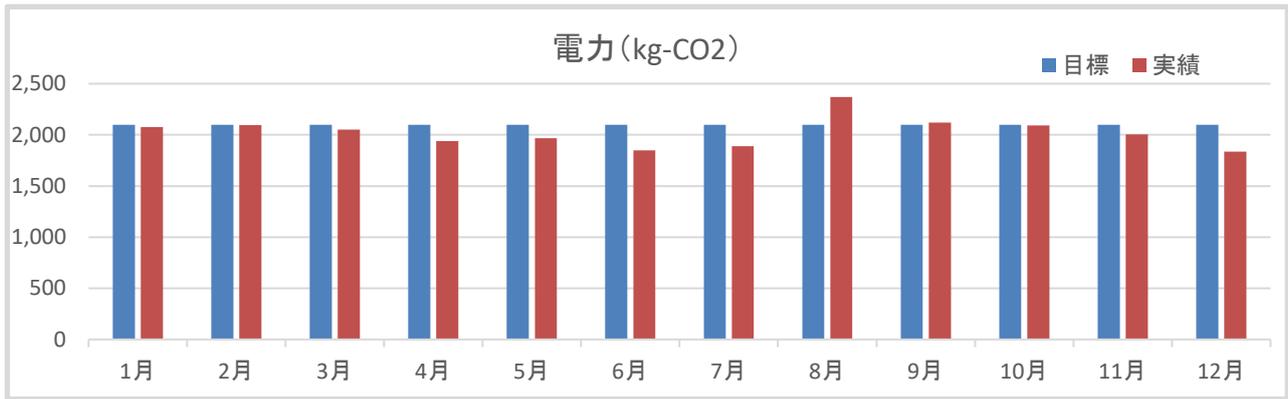
一般廃棄物の削減		評価結果	次年度取り組み内容
①印刷前の確認の徹底	△	目標達成出来ました。来年は本格的にペーパーレス化に取り組みます。 数値目標:達成 (-2.8%)	来期は左記の取り組み内容①・②・③・④・⑤・⑥・⑦を継続。
②コピーミスの防止	△		
③スキャンの活用	○		
④一般ゴミになるもの持ち込まない運動	○		
⑤書類、1枚ベスト運動	△		
⑥ペーパーレス化	○		
⑦裏紙の再利用	△		

産業廃棄物(木ごみ・廃プラ)の削減		評価結果	次年度取り組み内容
①木枠強度の問題があり、木枠量の削減が困難な為、現状維持	○	適正な処理をした。目標は達成出来ました。 数値目標:達成 (-40.3%)	来年も適正な処理を徹底します。
②廃プラ:輸入品についてくるラップがメイン。輸入品は発注量の調整が困難な為、現状維持	○		

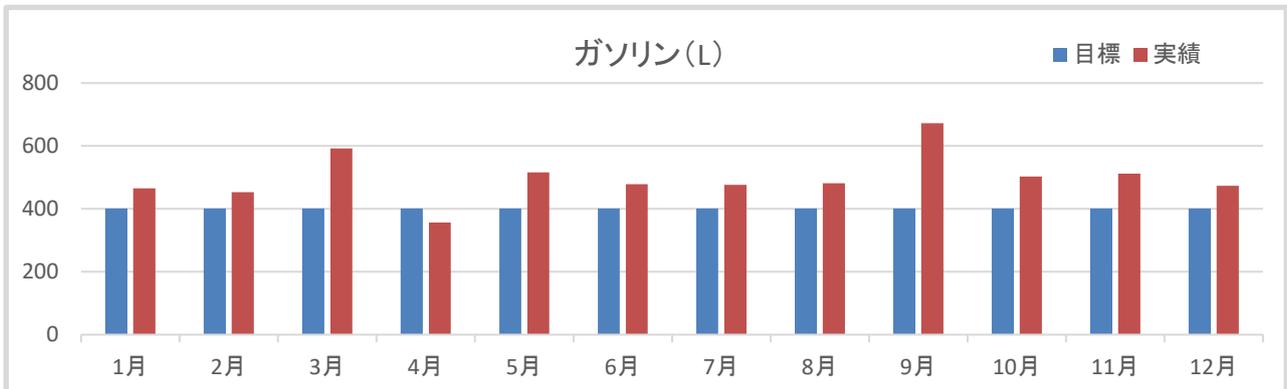
水道水の削減		評価結果	次年度取り組み内容
①再度水量の見直し	○	目標達成出来ました。 数値目標:達成 (-0.5%)	来年も左記の取り組み内容①・②・③・④・⑤の継続。
②節水の励行	△		
③水やりの見直し	△		
④漏水を定期的に点検	△		
⑤社内での洗車を最小限に抑える	△		

製品への環境配慮		評価結果	次年度取り組み内容
①販売先を増やす	×	引き続き販売強化して行きます。	来年も左記の取り組み内容①・②・③・④の継続。
②新規取り扱い店拡大	×		
③一般ユーザーへの販売	×		
④プロイズ製品のばら売り等を推進	×		

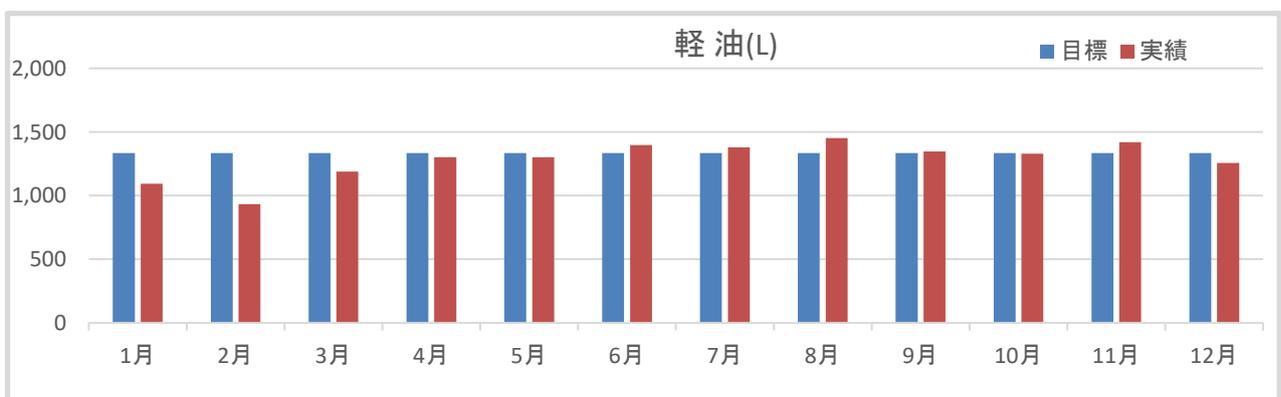
2023年度 環境目標/実績



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	2,098	2,098	2,098	2,098	2,098	2,098	2,098	2,098	2,098	2,098	2,098	2,098
実績	2,076	2,094	2,053	1,940	1,967	1,849	1,888	2,370	2,120	2,091	2,004	1,835

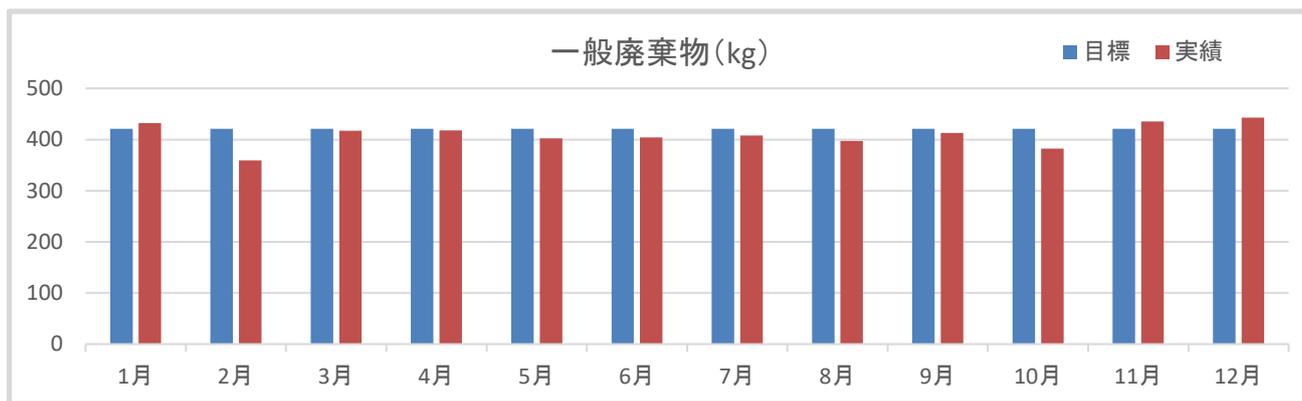


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	401	401	401	401	401	401	401	401	401	401	401	401
実績	465	453	592	357	516	479	476	482	672	503	512	473

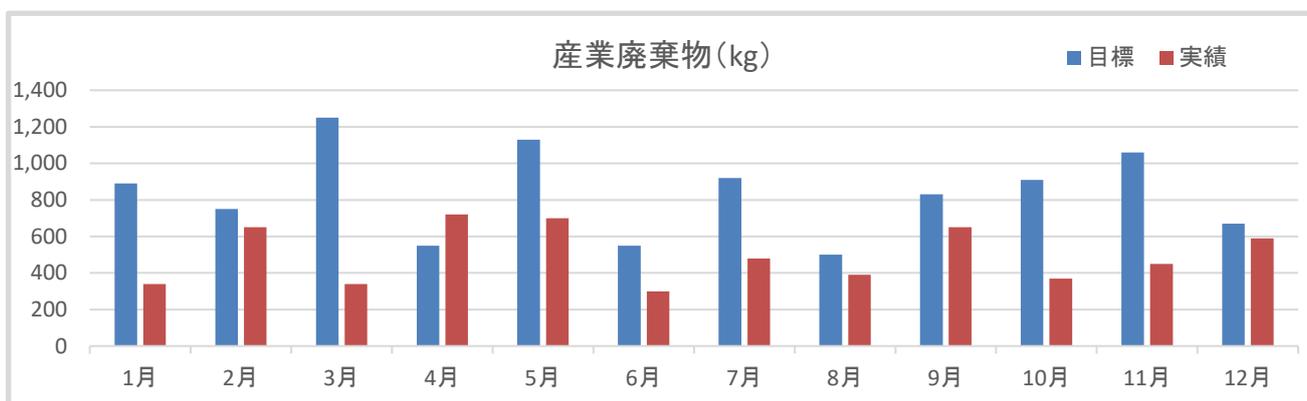


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334
実績	1,094	933	1,190	1,301	1,301	1,396	1,380	1,452	1,346	1,330	1,419	1,256

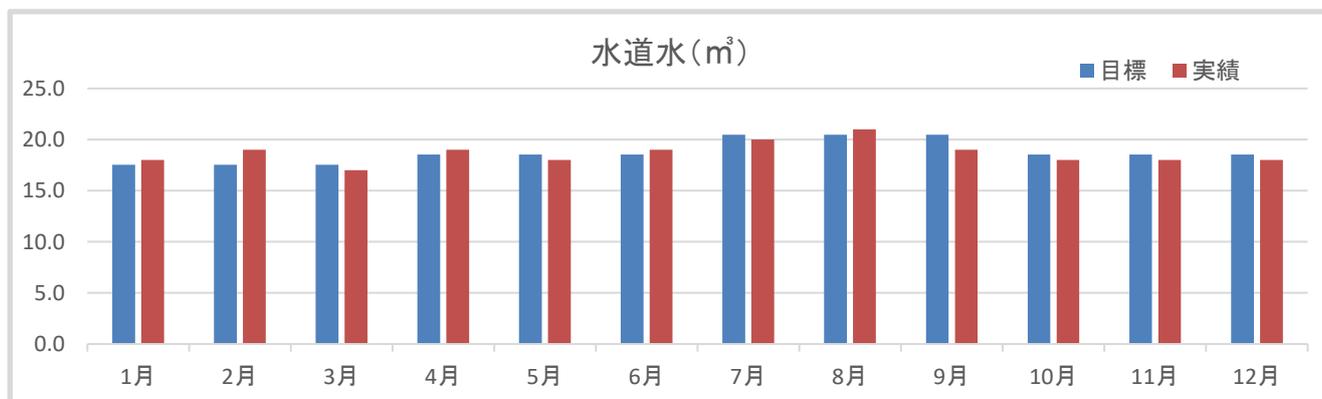
2023年度 環境目標/実績



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	421	421	421	421	421	421	421	421	421	421	421	421
実績	432	359	417	418	402	404	408	397	413	382	435	443



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	890	750	1,250	550	1,130	550	920	500	830	910	1,060	670
実績	340	650	340	720	700	300	480	390	650	370	450	590



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	17.6	17.6	17.6	18.5	18.5	18.5	20.5	20.5	20.5	18.5	18.5	18.5
実績	18.0	19.0	17.0	19.0	18.0	19.0	20.0	21.0	19.0	18.0	18.0	18.0

VII □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。

また外部からの環境に関する苦情、訴訟等もありませんでした。

また関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等・遵守すべき事項	遵守評価
消防法（少量危険物取扱）	保管量、保管状態1/5未満以下を維持	遵守
道路運送車両法 道路交通法 自動車NO _x ・PM法	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の点検及び、整備検査 ・積載量及び法定速度の遵守 ・排気ガス規制に適合した自動車の使用 	遵守
自動車リサイクル法	自動車 各車両購入時、確認。	遵守
廃棄物処理法	可燃物、不燃物 産業廃棄物：木くず・廃プラ 大阪市の許可書で確認。 マニフェストで確認	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機	遵守

VIII □代表者による全体評価と見直し・指示

売上額の前年比について、今期/前期の比較では若干プラスで終わったがEA21期間1月～12月ではマイナスになったため、環境効率指標の電力 kg-CO2/売上、一般廃棄物 kg/仕入、産業廃棄物 木ごみkg/輸入額に影響が出たと感じています。

昨年鋼材の値上げに伴い各顧客の買い込みがあった(値上げ特需)の反動(売上の減少)が今年初めにあり年末まで大変な1年でしたが、少しではありますが営業の取り組みの成果もありました。EA21においても昨年にFAX送信のペーパーレス化を行い、今年末には複合機の入替え。この新機種は印刷前の確認(プレビュー)が出来るので来年は印刷ミス防止の徹底が出来ると感じます。このように毎年少しずつですが環境の継続的改善に繋がればと考えています。

また今後も全従業員一丸となりEA21に取り組んでいきたいと考えています。

<見直し・指示>

環境経営方針	変更なし <input checked="" type="checkbox"/>	変更あり <input type="checkbox"/>
環境経営目標・計画	変更なし <input checked="" type="checkbox"/>	変更あり <input type="checkbox"/>
実施体制他	変更なし <input checked="" type="checkbox"/>	変更あり <input type="checkbox"/>